

結核は、今なお 2 万 5000 人近くの患者が発生する「現代の病気」です。年に 1 回の検診を受診して、病気の早期発見・早期治療に努めましょう。

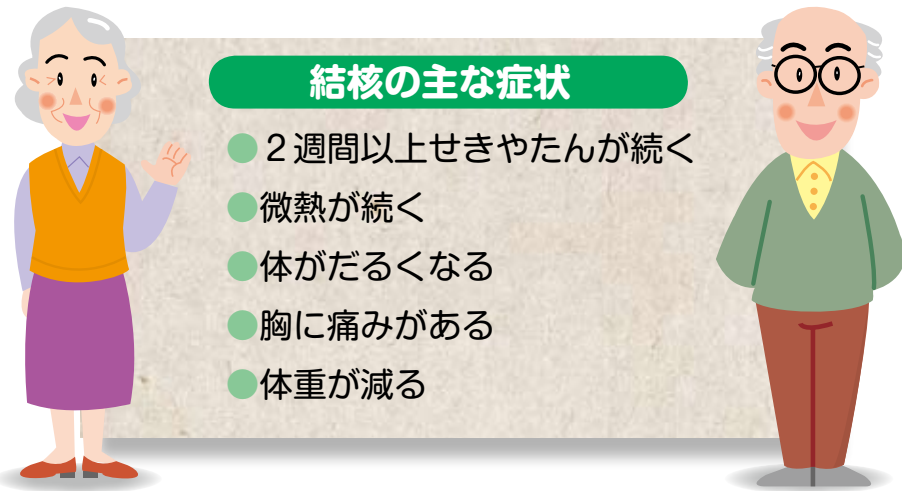
**実施期間:12月14日(月)~平成22年1月28日(木)**

**検診料金は無料です**

市では、満 65 歳以上の方に対して、結核検診の受診票の送付とお知らせをしています。今回の通知は、先に実施した平成 21 年度の肺がん検診(7月~10月に実施)を受診されなかった方、または、肺がん検診実施後に転入された方への通知となっています。

**結核の主な症状**

- 2 週間以上せきやたんが続く
- 微熱が続く
- 体がだるくなる
- 胸に痛みがある
- 体重が減る

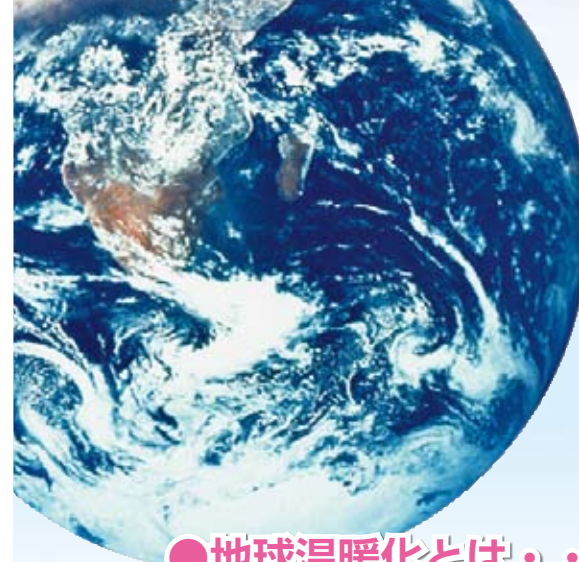


**注意事項**

- 1 検診当日は、結核検診受診票を必ず持参し、受付に提出してください。
- 2 胸部のレントゲン撮影の検査です。ボタン・ホック・ファスナー・カラープリントなどのついた服は、X線フィルムに写る可能性が高く、検診が正確に行えないため、できるだけ検査当日の着用をお控えください。
- 3 検診結果は約 1 カ月後に県民総合保健センターから全員に通知します。

■ 問合先 市民健康課(すこやかふれあいプラザ内) ☎ 0996(22)8811

満65歳以上の方へ  
**結核検診のお知らせ**



12月は地球温暖化防止月間です

みんなで止めよう  
**温暖化**

● 地球温暖化とは ● ● ●

地球は太陽の熱により温められていますが、温められた地面から出る熱の一部は宇宙に放出されるため、人間をはじめ生き物が生活できるちょうど良い温度に保たれています。

しかし、二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度が高くなると宇宙に放出される熱の量が減り、熱がこもり温度が上昇してしまいます。これを「地球温暖化」といいます。

二酸化炭素は、私たちが生活するために石油や石炭などの化石燃料を消費(燃焼)することによって大気中に排出されます。



● 地球温暖化をこれ以上進めないためには ● ● ●

何よりも二酸化炭素の排出量を減らすことが大切です。まずは身近なところから、取り組んでみてください。

行動 1 **温度調節で減らそう**

冷房時の室温は 28℃、暖房時の室温は 20℃にしよう

一世帯当たりの年間 CO<sub>2</sub>削減効果 **32.5kg**

行動 2 **水道の使い方で減らそう**

蛇口はこまめに閉めよう

一世帯当たりの年間 CO<sub>2</sub>削減効果 **69kg**

行動 3 **自動車の使い方で減らそう**

エコドライブをしよう

一世帯当たりの年間 CO<sub>2</sub>削減効果 **38.6kg**

行動 4 **家族団らんで減らそう**

家族一緒に同じ部屋で過ごそう

一世帯当たりの年間 CO<sub>2</sub>削減効果 **238kg**

行動 5 **買い物でゴミを減らそう**

レジ袋を減らし、できるだけマイバッグを使おう  
過剰包装を断ろう

一世帯当たりの年間 CO<sub>2</sub>削減効果 **58.3kg**

行動 6 **電気の使い方で減らそう**

コンセントからこまめに抜こう

一世帯当たりの年間 CO<sub>2</sub>削減効果 **60.1kg**

■ 問合先=環境課環境保全グループ (内線 2722)